

平成 16 年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 10 ※記入不要	提案機関名 農業振興課
要望問題 本県における切り花のバケツ出荷の有効性について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 切り花のニーズは多様化しており、ここ数年輸入切り花の増加とともに、国産切り花の鮮度保持への関心が高まっている。本県においてもばらを中心にバケツ輸送による出荷が増えつつある。 そこで、バケツ出荷した花きに対する品質の評価、出荷体制及び経済性をふまえたバケツ出荷の有効性について検討を願いたい。	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
研究対応区分	①研究所対応 ②委託研究 ③共同研究 ④その他
対応を希望する研究機関名	①農業総合研究所 ②根府川試験場 ③三浦試験場 ④津久井試験場) ⑤畜産研究所 ⑥水産総合研究所 (⑦内水面試験場 ⑧相模湾試験場) ⑨自然環境保全センター

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業総合研究所
部 署	経営情報部
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可
試験研究課題名 (①、②、④の場合)	切り花の品質保持技術の確立
対応の内容等	バケツ出荷における切り花の品質については、平成14年度に輸送用処理剤使用の有無、摘葉の有無、輸送温度を条件に輸送シミュレーションを実施しました。その結果、処理剤入り・10℃条件であれば、摘葉に関係なく、鮮度が保持できることが判明しました（平成14年度試験研究成績書（経営情報部））。なお、平成15年度も引き続き現課題の中で対応します。 また、出荷体制及び経済性に関する検討については、関連情報を収集し、有効な情報があれば、提供します。
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
備考	